



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東  
 コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月6日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	21,908	4.3	661	130.1	731	107.3	334	63.2
2024年3月期	20,997	△3.7	287	△24.1	352	△19.3	204	9.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	47.40	—	4.6	4.5	3.0
2024年3月期	29.04	—	2.9	2.2	1.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	16,368	7,386	45.1	1,046.91
2024年3月期	15,886	7,109	44.8	1,007.62

(参考) 自己資本 2025年3月期 7,386百万円 2024年3月期 7,109百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	947	△827	171	1,072
2024年3月期	734	△1,149	307	781

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	70	34.7	1.0
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	70	21.1	1.0
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		16.7	

### 3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,300	0.3	△153	—	△117	—	△99	—	△14.03
通期	22,000	0.4	670	1.3	740	1.2	422	26.2	59.81

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	7,275,500株	2024年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期	220,000株	2024年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	7,055,500株	2024年3月期	7,055,500株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気は緩やかな回復基調が続いている一方、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響やアメリカの政策動向による影響等が、景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社におきましても、人流の回復はみられるものの、仕入価格の高騰や人件費の上昇等コストの高止まりが続いており、また長引く物価高による消費者マインドの停滞も懸念され、厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『一意専心(決めた目標のために、迷わず心を集中させる)』を掲げました。消費者の節約志向が高まる中、お客様一人ひとりにご満足いただき再来店していただくため、積極的な出店・移転及びイエローハット事業における車検指定工場化を推進することにより、「集客力の向上」「新規顧客の獲得」「リピーターの増加」に努めて参りました。

2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレゼ南相馬店」(グランドオープンは同年6月)を新規出店し、同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」(旧店舗名ダイソー原町店)を移転オープン致しました。同年6月には茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」(旧店舗名イエローハット高萩店)を新築移転オープンし、宮城県角田市に「シャトレゼ角田店」(グランドオープンは同年7月)を新規出店致しました。同年7月に秋田県秋田市にある「アップガレージ秋田店」の運営を㈱アップガレージグループに譲渡し、宮城県大崎市に「アップガレージ宮城古川店」を新規出店致しました。同年10月に宮城県仙台市宮城野区にある「TSUTAYAヨークタウン新田東店」を、同年11月岩手県奥州市にある「TSUTAYA水沢店」をそれぞれ退店しております。

また、貴金属やブランド品等の買取専門店「買取大吉」を展開する㈱エンパワーと新たにフランチャイズ契約を締結し、同年12月宮城県仙台市若林区にあるTSUTAYA仙台荒井店内に当社1号店となる「買取大吉TSUTAYA仙台荒井店」(セグメントは「その他」)を新規出店致しました。

当事業年度末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが6店舗(前事業年度比2店舗減)、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレゼが4店舗(前事業年度比2店舗増)、買取大吉が1店舗(前事業年度比1店舗増)、宝くじ売場が5店舗の合計124店舗(前事業年度比1店舗増)となっております。

この結果、当事業年度の業績は、売上高は21,908百万円となり、前事業年度比910百万円(前事業年度比4.3%増)の増収となりました。経常利益につきましては731百万円となり、前事業年度比378百万円(前事業年度比107.3%増)の増益となりました。当期純利益は334百万円となり、前事業年度比129百万円(前事業年度比63.2%増)の増益となりました。増収増益の要因は主として、イエローハット事業とアップガレージ事業において、前事業年度末の春商戦が当事業年度にずれ込み、平年並みの降雪量と気温により主力季節商品であるスタッドレスタイヤと春先の夏タイヤの販売が好調に推移したことによるものとなっております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### [イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、2024年6月に茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」(旧店舗名イエローハット高萩店)を新築移転オープン致しました。主に対面接客による「タイヤの拡販」及び車検指定工場化の推進による「車検の拡販」に注力して参りました。前事業年度末の春商戦が当事業年度にずれ込み、平年並みの降雪量と気温により主力季節商品であるスタッドレスタイヤと春先の夏タイヤの需要が高まったことにより、当事業年度の売上高は好調に推移致しました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高16,918百万円(前事業年度比4.9%増)、セグメント利益(営業利益)は984百万円(前事業年度比64.8%増)となっております。

#### [TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、2024年10月に宮城県仙台市宮城野区にある「TSUTAYAヨークタウン新田東店」を、同年11月岩手県奥州市にある「TSUTAYA水沢店」をそれぞれ退店しております。書籍、文具、コスメ等雑貨の商品展開を行い販売に注力したものの、2店舗退店の影響もあり、当事業年度の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高1,466百万円(前事業年度比13.7%減)、セグメント損失(営業損失)は85百万円(前事業年度は76百万円のセグメント損失(営業損失))となっております。

#### [アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、2024年7月に秋田県秋田市にある「アップガレージ秋田店」を㈱アップガレージグループに譲渡し、宮城県大崎市に「アップガレージ宮城古川店」を新規出店致しました。イエローハット事業同様、前事業年度末の春商戦が当事業年度にずれ込み、平年並みの降雪量と気温により主力季節商品であるスタッドレスタイヤと春先の夏タイヤの需要が高まったこと、及び節約志向が続く中、中古タイヤホイールのニーズが高まったことにより、当事業年度の売上高は好調に推移致しました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高1,121百万円(前事業年度比3.1%増)、セグメント利益(営業利益)

は103百万円（前事業年度比14.2%増）となっております。

[その他]

その他の事業におきましては、2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレゼ南相馬店」（グランドオープン同年6月）を新規出店し、同年6月同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」（旧店舗名ダイソー原町店）を移転オープン及び宮城県角田市に「シャトレゼ角田店」（グランドオープンは7月）を新規出店致しました。

また、貴金属やブランド品等の買取専門店「買取大吉」を展開する㈱エンパワーと新たにフランチャイズ契約を締結し、同年12月宮城県仙台市若林区にあるTSUTAYA仙台荒井店内に当社1号店となる「買取大吉TSUTAYA仙台荒井店」（セグメントは「その他」）を新規出店致しました。

シャトレゼ事業は、売上高は好調であったものの新規出店による費用の増加もあり、増収減益となっております。

ダイソー事業、コメダ事業、保険事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

カーセブン事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高2,402百万円（前事業年度比15.6%増）、セグメント利益（営業利益）は104百万円（前事業年度比7.9%増）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度における流動資産の残高は290百万円増加し、7,782百万円（前事業年度末7,491百万円）となりました。これは主に、現金及び預金が280百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は190百万円増加し、8,585百万円（前事業年度末8,394百万円）となりました。これは主に、敷金及び保証金が51百万円減少したものの、度重なる新規出店等により有形固定資産が142百万円及び投資有価証券が97百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は16,368百万円（前事業年度末15,886百万円）となりました。

② 負債

当事業年度における流動負債の残高は17百万円増加し、6,143百万円（前事業年度末6,125百万円）となりました。これは主に、契約負債が123百万円減少したものの、未払費用が158百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債の残高は186百万円増加し、2,838百万円（前事業年度末2,651百万円）となりました。これは主に、長期借入金が178百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は8,981百万円（前事業年度末8,777百万円）となりました。

③ 純資産

当事業年度における純資産の残高は277百万円増加し、7,386百万円（前事業年度末7,109百万円）となりました。これは、当期純利益を334百万円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,072百万円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、947百万円（前事業年度は734百万円の収入）となりました。

これは主に、法人税等の支払額が135百万円及び契約負債が123百万円減少したものの、税引前当期純利益515百万円、減価償却費438百万円及び減損損失214百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、827百万円（前事業年度は1,149百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が796百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、171百万円（前事業年度は307百万円の収入）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が457百万円あったものの、長期借入れによる収入が700百万円増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
自己資本比率 (%)	44.2	44.7	44.0	44.8	45.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	23.8	26.3	25.6	26.7	25.0
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	3.8	36.3	5.2	5.8	4.8
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	44.7	5.0	33.3	41.2	30.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2026年3月期の見通しにつきましては、2025年3月期と同様に売上総利益率の向上策を推進し、「利益の確保」を計画しております。

主たる事業であるイエローハット事業におきましては、車検販売を主軸にカーメンテナンス等工賃収入の増加を計画しております。

TSUTAYA事業におきましては、書籍、文具及び雑貨の品揃えの強化及び多様化する顧客のニーズに応えるべく、アイテムの内容改善を計画しております。

アップガレージ事業におきましては、節約志向の高まりから中古品の需要が今後も安定していくものと予想しております。

その他の事業におきましては、概ね横ばいと予想しております。

継続する物価高に伴い今後も消費者の節約志向は続くと考えられ、人件費や電気料金をはじめとする費用も引き続き増加するものと予想しており、通期の売上高は増収を予定するも、営業利益、経常利益は微増、当期純利益に関しましては増益の予想となります。

翌事業年度の売上高は22,000百万円、経常利益は740百万円、当期純利益422百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後の I F R S (国際財務報告基準) 導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めて参ります。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	894,793	1,175,427
売掛金	690,920	743,603
商品	5,480,448	5,417,477
貯蔵品	2,272	3,064
前払費用	130,172	127,663
未収入金	276,133	297,449
その他	16,931	17,729
流動資産合計	7,491,671	7,782,414
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,552,660	2,859,274
構築物（純額）	240,780	360,050
車両運搬具（純額）	33,608	36,867
工具、器具及び備品（純額）	409,714	454,992
土地	2,498,358	2,549,817
建設仮勘定	383,731	—
有形固定資産合計	6,118,853	6,261,003
無形固定資産	20,219	20,677
投資その他の資産		
投資有価証券	248,405	345,563
関係会社株式	294	408
長期前払費用	34,493	33,051
繰延税金資産	920,305	913,647
長期預金	22,900	34,700
敷金及び保証金	1,023,834	972,696
リース投資資産	5,127	3,626
その他	180	230
投資その他の資産合計	2,255,541	2,303,923
固定資産合計	8,394,614	8,585,604
資産合計	15,886,285	16,368,019

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,034,034	1,013,906
短期借入金	3,250,000	3,250,000
1年内返済予定の長期借入金	366,654	429,988
未払金	261,232	234,678
未払費用	252,945	411,634
未払法人税等	162,948	209,942
未払消費税等	138,538	98,023
前受金	65,015	66,958
預り金	79,981	29,962
賞与引当金	93,333	99,166
契約負債	415,222	291,670
その他	5,711	7,464
流動負債合計	6,125,616	6,143,396
固定負債		
長期借入金	641,698	820,460
退職給付引当金	1,609,661	1,612,165
役員退職慰労引当金	166,108	170,355
資産除去債務	183,724	185,812
長期預り敷金保証金	50,222	49,322
固定負債合計	2,651,414	2,838,115
負債合計	8,777,031	8,981,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金		
資本準備金	500,645	500,645
資本剰余金合計	500,645	500,645
利益剰余金		
利益準備金	42,692	42,692
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	62,240	58,249
別途積立金	1,230,000	1,230,000
繰越利益剰余金	3,390,617	3,658,474
利益剰余金合計	4,725,551	4,989,416
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	7,028,461	7,292,326
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,791	94,181
評価・換算差額等合計	80,791	94,181
純資産合計	7,109,253	7,386,507
負債純資産合計	15,886,285	16,368,019

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	20,997,839	21,908,697
売上原価		
商品期首棚卸高	5,784,832	5,480,448
当期商品仕入高	11,504,398	11,880,163
合計	17,289,230	17,360,611
他勘定振替高	44,625	39,701
商品期末棚卸高	5,480,448	5,417,477
商品売上原価	11,764,157	11,903,431
売上総利益	9,233,681	10,005,266
販売費及び一般管理費	8,946,115	9,343,658
営業利益	287,565	661,608
営業外収益		
受取利息	1,956	2,312
受取配当金	12,178	8,502
受取手数料	20,174	19,052
受取保険金	13,274	16,488
受取報奨金	10,366	9,362
産業廃棄物収入	20,463	23,903
その他	17,074	20,156
営業外収益合計	95,488	99,779
営業外費用		
支払利息	17,750	27,931
その他	12,640	2,449
営業外費用合計	30,391	30,381
経常利益	352,663	731,006
特別利益		
固定資産売却益	49	30
投資有価証券売却益	3,786	—
関係会社株式売却益	106,172	—
賃貸借契約解約益	46,576	—
特別利益合計	156,585	30
特別損失		
減損損失	128,041	214,687
固定資産除却損	12,731	136
投資有価証券評価損	—	230
店舗閉鎖損失	9,409	—
特別損失合計	150,183	215,054
税引前当期純利益	359,065	515,982
法人税、住民税及び事業税	135,564	181,723
法人税等調整額	18,622	△161
法人税等合計	154,187	181,562
当期純利益	204,878	334,419

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					圧縮記帳積立金	別途積立金
当期首残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	65,511	1,230,000
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
圧縮記帳積立金の取崩					△3,271	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△3,271	—
当期末残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	62,240	1,230,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	3,253,022	4,591,227	△108,380	6,894,137	105,960	105,960	7,000,098
当期変動額							
剰余金の配当	△70,555	△70,555		△70,555			△70,555
当期純利益	204,878	204,878		204,878			204,878
圧縮記帳積立金の取崩	3,271	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					△25,168	△25,168	△25,168
当期変動額合計	137,594	134,323	—	134,323	△25,168	△25,168	109,155
当期末残高	3,390,617	4,725,551	△108,380	7,028,461	80,791	80,791	7,109,253

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					圧縮記帳積立金	別途積立金
当期首残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	62,240	1,230,000
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
圧縮記帳積立金の取崩					△3,991	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	—	—	△3,991	—
当期末残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	58,249	1,230,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	3,390,617	4,725,551	△108,380	7,028,461	80,791	80,791	7,109,253
当期変動額							
剰余金の配当	△70,555	△70,555		△70,555			△70,555
当期純利益	334,419	334,419		334,419			334,419
圧縮記帳積立金の取崩	3,991	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					13,389	13,389	13,389
当期変動額合計	267,856	263,864	—	263,864	13,389	13,389	277,254
当期末残高	3,658,474	4,989,416	△108,380	7,292,326	94,181	94,181	7,386,507

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	359,065	515,982
減価償却費	371,791	438,113
減損損失	128,041	214,687
店舗閉鎖損失	9,409	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,916	5,833
関係会社株式売却損益 (△は益)	△106,172	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	230
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,786	—
受取利息及び受取配当金	△14,134	△10,814
賃貸借契約解約益	△46,576	—
支払利息	17,750	27,931
売上債権の増減額 (△は増加)	102,139	△52,682
棚卸資産の増減額 (△は増加)	304,026	62,178
未収入金の増減額 (△は増加)	133,999	△21,316
仕入債務の増減額 (△は減少)	△526,814	△20,128
未払金の増減額 (△は減少)	△9,058	△3,010
未払費用の増減額 (△は減少)	32,754	158,480
未払消費税等の増減額 (△は減少)	87,395	△40,514
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,386	4,247
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,719	2,504
契約負債の増減額 (△は減少)	△18,855	△123,551
固定資産除却損	12,731	136
その他	39,266	△54,807
小計	903,997	1,103,500
利息及び配当金の受取額	14,134	10,814
利息の支払額	△17,825	△31,540
法人税等の支払額	△165,471	△135,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	734,835	947,091
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,311,002	△796,893
無形固定資産の取得による支出	△13,558	△4,438
関係会社株式の売却による収入	118,555	—
投資有価証券の取得による支出	—	△77,292
投資有価証券の売却による収入	4,514	—
定期預金の預入による支出	△82,250	△65,400
定期預金の払戻による収入	78,800	64,400
敷金及び保証金の差入による支出	△3,367	△2,790
敷金及び保証金の回収による収入	60,337	55,233
その他	△1,050	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,149,021	△827,199
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	500,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△318,324	△457,904
配当金の支払額	△70,555	△70,555
リース債務の返済による支出	△3,452	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	307,668	171,541
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△106,517	291,433
現金及び現金同等物の期首残高	887,893	781,375
現金及び現金同等物の期末残高	781,375	1,072,809

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、フランチャイジーとして展開する各事業を基本的な構成単位として、経営資源の配分の決定を行い業績を評価しているため、商品・サービス別のセグメントから構成されております。

当社は、カー用品の販売、取付、車検、整備等を行う「イエローハット事業」、書籍・文具雑貨等の販売、DVDのレンタル等を行う「TSUTAYA事業」、中古カー用品の買取・販売の「アップガレージ事業」を中心として事業活動を展開していることから、「イエローハット事業」「TSUTAYA事業」「アップガレージ事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に概ね準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は実勢価格を勘案して予め定めた合理的な金額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸 表 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	16,132,393	1,700,696	1,086,954	18,920,044	2,077,795	20,997,839	—	20,997,839
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	22,135	1,533	380	24,049	23,556	47,605	△47,605	—
計	16,154,528	1,702,230	1,087,334	18,944,093	2,101,351	21,045,444	△47,605	20,997,839
セグメント利益 又は損失 (△)	597,374	△76,670	91,003	611,706	97,192	708,899	△421,333	287,565
セグメント資産	10,599,968	1,402,786	861,419	12,864,174	1,288,517	14,152,692	1,733,593	15,886,285
その他の項目								
減価償却費	238,317	24,389	18,653	281,360	58,919	340,279	14,150	354,430
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	894,577	1,181	323,695	1,219,454	30,290	1,249,744	—	1,249,744

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カーセブン事業、ダイソー事業、コメダ事業、シャトレーゼ事業、不動産賃貸事業及び保険収入等を含んでおります。

2. 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△421,333千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,733,593千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額14,150千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸 表 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	16,918,246	1,466,903	1,121,040	19,506,190	2,402,507	21,908,697	—	21,908,697
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,978	1,577	941	25,497	21,989	47,486	△47,486	—
計	16,941,225	1,468,480	1,121,982	19,531,688	2,424,496	21,956,184	△47,486	21,908,697
セグメント利益 又は損失 (△)	984,183	△85,061	103,924	1,003,046	104,829	1,107,876	△446,267	661,608
セグメント資産	10,792,018	1,095,167	932,546	12,819,733	1,413,781	14,233,515	2,134,504	16,368,019
その他の項目								
減価償却費	287,517	26,170	30,046	343,733	66,590	410,324	9,773	420,098
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	600,551	15,190	314,005	929,747	229,880	1,159,628	1,890	1,161,518

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カーセブン事業、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業、買取大吉事業、不動産賃貸事業及び保険収入等を含んでおります。

2. 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△446,267千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,134,504千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産等であります。

(3) 減価償却費の調整9,773千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,007.62円	1,046.91円
1株当たり当期純利益金額	29.04円	47.40円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益金額 (千円)	204,878	334,419
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	204,878	334,419
期中平均株式数 (株)	7,055,500	7,055,500

(重要な後発事象)

該当事項はありません。